

K A W A K A M I D A M 川上ダム通信

2009

4

月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

川上ダム事業の推進について

去る3月31日に、伊賀上野地域の永年の念願でありました川上ダムの建設事業について、治水、利水、河川環境の面から正式に位置づけた淀川水系河川整備計画が近畿地方整備局により策定されました。また、4月17日には、川上ダムの建設事業を水資源開発の面から正式に位置づけた淀川水系における水資源開発基本計画の変更が閣議決定されました。これらの2つの法定計画により、川上ダム建設事業は国の施策として明確に位置付けられ、地元伊賀市の多くの皆様の期待に応えるべく、新たな段階に歩みを進めることとなりました。



川上ダム完成予想図

従前の計画から、社会情勢の変化を踏まえた新たな川上ダム計画が位置づけられるまでに多くの時間が費やされたこととなります。この間、先祖伝来の土地を離れ、ダムの完成を今か今かとお待ちいただいた地元の関係の皆様には、多くのご心配をおかけし、また、多方面からご協力をいただきましたことに対しまして、事業者を代表して心からお詫びを申し上げ、また、感謝を申し上げる次第であります。

さて、川上ダムの地元、伊賀市におかれましては、6市町村の合併から5年が経過し、「ひとが輝く 地域が輝く～住み良さが実感できる自立と共生のまち～」というキャッチフレーズのもと、市民の皆さんと市（行政）が一体となってまちづくりに取り組んでおられます。川上ダムもその一端を担う施設として、「川上ダムができて災害には安心ね」「飲み水の心配もなくなったよ」（リーフレット「にぎわう伊賀市の未来」【全市編】より）と関係の皆様から言っていただけのように、地域の安全安心を担う決意で事業を進めて参ります。



どうか、これから進展して参ります川上ダム建設事業につきまして、広く一般の方々からご支援をいただき、早期の供用に努めて参りたいと考えておりますので、旧来に増してのご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

川上ダム建設所
所長 及川 拓治

平成21年度 主な工事予定

平成21年度予算の概要

- ・ 予算額 ⇒ 38億円
- ・ 主な実施内容 ⇒ 転流工工事及び付替道路工工事を実施するほか、水理調査、環境調査、用地補償等を実施します。



- 注) 青線は、供用済道路。
黄線は、既成道路。
赤線は、平成21年度工事予定道路及び転流工工事。

【工務課長 柳生光彦】

第5回

伊賀・名張周辺の初瀬街道史跡紹介



管笠日記抄の碑

初瀬街道はその昔、都からお伊勢参りに使われた街道の一部で松阪市六軒から長谷寺のある奈良県初瀬（桜井市）までを指し、現在の近鉄電車や国道165号線に近いルートです。

今回、紹介するのは伊賀市阿保にある大縄橋を渡った左橋詰めにある「管笠日記抄の碑」です。昭和31年に建立されたもので、碑には、「本居大人管笠日記抄」と刻まれており、本居宣長がここを通った記念の碑といわれています。

【総務課 竹之内律子】

土木遺産紹介 ～新田水路～

前深瀬川上流の高尾地区から名張市北東部の美旗地区を流れる新田水路についてご紹介します。美旗新田は、1654年、藤堂藩の大事業として、加納直盛・直堅父子二代の奉行を中心に開墾されたものです。新田開発に伴い、必要となる水量を確保するため、1655年に水路がつけられました。1977年には、青蓮寺ダムからも水が取り入れられるようになりました。

下の写真は、美旗地区の円筒分水です。円筒分水とは、農業用水などを一定の割合で正確に分配するために用いられる利水施設です。円筒状の設備の中心部に用水を湧き出させ、円筒外周部から越流、落下する際に一定の割合に分割される仕組みとなっています。取材した時期は、桜がとても美しく、花見の時期には良いところです。ちなみに、1988年に桜の苗木の植樹を行い、約20年で写真のような美しい景観となっています。

【調査設計課 竹之内健太】



美旗地区



円筒分水

第5回

植物図鑑シリーズ 地元で見られる植物

春の暖かな陽気に誘われ、少し野山を歩くと、草木が勢いよく芽吹いている光景があちこちで見られます。この時期の新芽の中には、山菜として知られるものがあり、柔らかく美味しいものがあります。そこで今回は、この時期に見られる新芽を食する山菜2種についてご紹介します。一つ目はクサソテツです。新芽を「こごみ」とも呼ぶこの植物は、河原や水路脇などの湿り気の多い場所で見られます。アクが少ないので火を通すだけで食べられます。二つ目はヤブカンゾウですが、水田の畦、草原の土手など至る場所で見られます。花は7～8月に開花し、八重の花びらをつけます。両方とも和え物や天ぷらなどの食べ方がおすすめです。

【環境課 水野正明】



クサソテツ (オシダ科)



ヤブカンゾウ (ユリ科)
開花時期 7～8月



お知らせ

4月1日付け 人事異動



転出者

副所長（技術） 青山 太洋
 総務課 中川 雅樹
 第一用地課長 芦田 哲郎
 第一用地課 川部 信夫
 第一用地課 比嘉 真知子
 環境課長 大村 朋広
 工務課 飛驒 誠二
 工務課 柴田 健一
 工事課長 田原 秀光
 調査設計課 中畷 一彦

転入者

副所長（技術） 稲葉 悦雄（本社）
 第一用地課 安田 直人（（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構）
 第一用地課 加藤 晶久（新規採用）
 第二用地課長 中村 利行（豊川用水総合事業部）
 第二用地課 井口 遥香（思川開発建設所）
 環境課長 山田 邦晴（本社）
 工務課 鈴木 弘二（荒川ダム総合管理所）
 工務課 鶴牧 美鈴（吉野川局）
 工務課 飯塚 誠（新規採用）
 工事課長 山田 雅勝（国土交通省関東地方整備局西川ダム工事事務所）
 シニアスタッフ 小堀 満雄（関西支社）

新副所長 就任挨拶

4月1日付けで川上ダム建設所副所長を拝命しました稲葉悦雄と申します。

安全、安心を確保する川上ダム建設事業の一員として、自然環境への配慮を念頭におき、地域の皆様から愛される事業を目指してまいります。もとより微力ではございますが、地域に貢献すべく邁進する所存でございます。

皆様方におかれましては、川上ダム建設事業への更なるご理解とご協力をお願いすると共に、どうか一層のご支援、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



川上ダム建設所副所長
稲葉 悦雄

EVENT

第22回青山高原つつじクォーターマラソン大会

3km、5km、10.55kmの部に分かれて競い合うマラソン大会。青山高原の美しい景色を見ながら走ることができます。

○日時／5月31日（日）雨天決行

○場所／青山高原

○問い合わせ／伊賀市教育委員会スポーツ振興課

TEL:0595-22-9680

青山高原のツツジ

青山高原一帯には無数のツツジが自生し、5月中・下旬には一斉に花が咲き、その様は壮観。特に、高原の最高地点付近はツツジの名所。ヤマツツジをはじめとした数万株ものツツジ科の花が赤く咲き誇ります。

○場所／青山高原

編集後記

川上ダム通信は、今までA4二枚の両面印刷で発行していましたが、4月号からA3一枚の両面印刷で発行致します。これにより印刷代が半減し、コスト縮減となります。これからもコスト縮減への取り組みをしていきます。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治（川上ダム建設所長）

デスク 吉岡 直也（総務課長）

〃 柳生 光彦（工務課長）

通信記者 磯野 正典（環境課）

〃 竹之内健太（調査設計課）

〃 竹之内律子（総務課）



ISO14001 : 2004
JQA-EM5769

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇